

ゲノム編集魚は安全でサステナブルなのか？

～リージョナルフィッシュ社への 公的支援のあり方を問う院内集会～

日時: 2025年2月21日(金) 14:00～16:00
会場: 衆議院第1議員会館第5会議室(オンライン配信あり)
主催: 遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン/
OK シードプロジェクト/日本消費者連盟

《プログラム》

- 14:00 開会あいさつ・趣旨説明
- 14:10 ゲノム編集魚の科学的問題点
河田昌東(分子生物学者/遺伝子操作食品を考える中部の会)
- 14:30 リージョナルフィッシュ社への公的資金の問題点
印鑰智哉 (OK シードプロジェクト事務局長)
- 14:40 宮津∞麦のね宙ふねっとワークの活動と SLAPP レター
井口 NOCO (麦ふね共同代表)
上林恵理子 (弁護士)
- 15:00 省庁からの回答と質疑
- 15:50 まとめ/閉会あいさつ

遺伝子組み換え食品いらない! キャンペーン <https://gmo-iranai.org/>

OK シードプロジェクト <https://okseed.jp/>

日本消費者連盟 <https://nishoren.net/>

【連絡先】 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207 (〒169-0051)

電話: 03-5155-4765 (月・水・金)

メール: koketsu@nishoren.org 担当: 日本消費者連盟: 瀬瀬 (こうけつ)

【開催の背景】

ゲノム編集によって遺伝子の一部を人工的に欠損させた「ゲノム編集魚」は、現在、日本だけで販売されています。しかし、このゲノム編集魚は、いくつかの大きな問題をはらんでいます。

現在、「レプチン受容体遺伝子欠損型」と「ミオスタチン遺伝子欠損型」の2つのタイプのゲノム編集魚が生産・販売されていますが、食の安全に関する検証が充分に行われているとは思えません。

こうした遺伝子の人工的な改変によって、魚の健康な成長にはどのような影響があるのでしょうか。アニマルウェルフェア（動物の福祉）の観点から、「拷問養殖」であるとの指摘もあります。

このゲノム編集魚を開発・生産・販売しているベンチャー企業「リージョナルフィッシュ社」には、「イノベーション創出事業」「スタートアップ支援事業」などの名目で高額な補助金を含む支援が行われています。同社の事業について、市民団体から情報公開を求めても一切まともな情報は公開されていません。

一方、政府関係機関はこの企業のことをどのように捉えて支援しているのでしょうか？

私たちは2023年に「ゲノム編集魚を考える市民集会 in 京都」を開催し、ゲノム編集魚の問題提起を行いました。同社にはさらなる公的支援が決まり、同社の事業は全国各地、さらには海外に向けて広がろうとしています。それを支えているのは同社の事業の成功ではなく、政府や地方自治体による支援であることにより大きな問題があります。

そこで同社の事業の検証「ゲノム編集魚が本当に安全と言い得るのか」を踏まえ、政府・農林水産省、経済産業省、消費者庁などに対して、同社の事業をどのように認識して支援しているのかを問い、市民の声を伝えるために、今後のあり方を協議する院内集会を企画しました。

この国会議員会館での集会は、オンラインで全国と結びます。分子生物学者の河田昌東さんに、ゲノム編集魚の問題について科学的にどんな問題があるかを説明いただき、京都府宮津市でこの問題に取り組んでいる「宮津∞麦のね宙ふねっとワーク」共同代表の井口Nocoさんから、リージョナルフィッシュ社の市民への対応の問題点を伺います。そして、政府関係省庁に今後の対応を問う予定です。

ゲノム編集魚の問題点

河田昌東（遺伝子操作食品を考える中部の会）

はじめに

ゲノム編集で遺伝子を破壊し新たな性質を持たせて商品化する流れが出来つつある。それが何をもたらすかが今問われている。ここでは、その生物学的な意味について述べる。

1) マッスル真鯛

筋肉隆々の真鯛を作ったのは、「ミオスタチン」という筋肉の発達を抑制する蛋白質を作る遺伝子をゲノム編集で破壊し、筋肉の成長をなすが儘にしたもの。この蛋白質は筋繊維から分泌され、筋肉が過剰に発達するのを適度に抑制することで過剰な代謝やがんの発生を抑制していると言われている。稀にこの遺伝子の突然変異で筋肉過剰な牛や豚などが生まれることがある。過剰なエネルギー消費により摂取カロリーが増大する（えさの量が多くなる）。又、心臓筋肉の機能を活発化させ高血圧になる、という研究もある。マッスル真鯛の場合、体長が通常より20%短くなる。

2) 巨大トラフグ、ヒラメ

レプチン受容体遺伝子（LepR）を破壊した。レプチンは肝臓などの脂肪細胞で合成されるホルモンの一種で、飽食シグナルの伝達物質。交感神経を活発化させエネルギー消費を増大させ、肥満の抑制や体重制御を行う。巨大トラフグはこのホルモンの受容体遺伝子を破壊した結果、様々な運動機能が損なわれ、エネルギー消費の調節が出来ない。レプチンは受容体を通して脳血管門を通過し、脳の働きを調節する。レプチンは脳の視床下部の様々な機能に関わっている。受容体が作られなくなる結果、様々な病気を併せ持つことになる。レプチン受容体の働き：血中グルコース濃度の調整、学習・記憶、繁殖能力、運動能力、エネルギー消費、血圧調整など多発的な機能が抑制されている。病的な個体である。

3) 共食いしない鯖（九州大学が開発中）

AVTR V1a2 遺伝子を破壊。養殖で共食いしなくなった。しかし、この遺伝子はストレス対応と同時に体内の浸透圧調節にも関わっている。この遺伝子破壊の結果、塩濃度の異なる海水中で細胞の浸透圧調節が出来なくなり、運動機能や生殖機能に影響が出る可能性がある。

最後に

ゲノム編集は現在機能している遺伝子を破壊し、異なる性質を付与する技術である。その為に遺伝子 DNA のエクソンを破壊する。遺伝子 DNA は蛋白質のアミノ酸配列に対応する「エクソン」と蛋白質合成に関わらない「イントロン」という塩基配列が交互に並んでいる。ゲノム編集は機能している塩基配列を破壊する技術である。現在、生物の進化に関する DNA レベルの研究が進んでいる。その結果、自然界の突然変異はランダムに起こるが、エクソンで起こった突然変異は殆どが正常に修復され、イントロンの変異がそのまま残っている事が明らかになった。植物の DNA 全構造が初めて決定されたシロイヌナズナで当初明らかになったが、現在ではヒトの DNA でも同じ事が起こっている事が分かっている。ゲノム編集は現在機能しているエクソンの破壊であり、突然変異とは異なり生物進化に逆行するものである。

生命操作の時代にどう向き合うか

河田昌東

(遺伝子操作食品を考える中部の会)

1) はじめに

1700年代にイギリスで始まった第一次産業革命は石炭を使うエネルギー産業が中心だった。その後、石油と電気が中心の第2次産業革命、原子力産業が興った現在を第3次産業革命と呼ぶ事もある。そして今、新たに第4次産業革命が始まろうとしている。それは生命操作に新たな産業の中心的な役割を担わせよう、とする流れである。内閣府のHPによれば、ゲノム編集や合成生物学などの新たな産業は将来600兆円規模のビジネスになる、という。だが、こうした産業革命のもたらした地球規模の影響が今、大きな課題になっている。地球温暖化は化石燃料を燃やして出来るCO₂が原因だが、温暖化が問題になったのは1980年代後半になってからだった。100年前は誰も想像だにしなかった温暖化が今、地球の未来を危うくしている。1972年に専門家集団・ローマクラブが「成長の限界」を発表し、温暖化に伴う環境破壊や化石燃料枯渇に関して話題になったが、その後経済成長が優先され提言は無視されて今日に至っている。

原子力開発が始まったのは1895年、フランスの科学者アンリ・ベクレルがウラン鉱物から放射線が出ている事を発見したのが始まりだった。それが第二次大戦の核兵器開発につながり、広島・長崎の原爆投下となった。日本で原子力の平和利用が始まったのは1970年、大阪万博会場に若狭湾から美浜1号(加圧水型)と敦賀1号(沸騰水型)の電気が送られたのが始まりだった。「原子力の軍事利用は悪いが平和利用は新時代のエネルギー」と国もマスコミも沸いた。だが当初から原発事故と高レベル廃棄物の問題を指摘した専門家達がいた。筆者もその一人である。しかし国や原子力専門家たちは「事故は100万年に一回、高レベル廃棄物はそのうち何とかなる」と豪語した。それから55年、大事故は3回(TMI、チェルノブイリ、福島)起き、高レベル廃棄物処理は未だに未解決である。産業革命の大きな目標は「経済成長」である。経済成長が優先され問題は先送りされる、という構造が地球の未来を危うくしている。

2) 生命操作の時代

総ての生命は遺伝子で出来ている。その遺伝子を操作し産業化したのは「遺伝子組換え」だった。米国のモンサント社(現在はドイツのバイエル社の傘下)が除草剤ラウンドアップの販売を増やすために土壌細菌の除草剤耐性遺伝子を大豆遺伝子に挿入し、販売を始めた1996年が始まりである。その後ナタネなど様々な野菜が遺伝子組換えされ、大規模栽培が可能になって米国の主要な輸出産業となった。こうした異種生物の遺伝子を挿入する遺伝子組換えは、生物進化に逆行するものであり、批判もあったが輸出産業として米国、カナダ、ブラジル、インド等で定着している。しかし近年、残留農薬や抗生物質耐性、脳腸相関などに与える除草剤の悪影響が明らかになり、成長が鈍化している。代わって登場したのが「ゲノム編集」である。これは細菌の免疫反応を担うCrispr Cas9という遺伝子が作る蛋白質が、標的とするDNAの塩基配列を切断する「遺伝子のハサミ」である。このCas9の成分gRNA(ガイドRNA)を人工的に合成することで、好きな

標的 DNA を切断して機能を失わせたり、そこに新たな塩基配列を挿入して本来の遺伝子の機能を変更出来る技術である。この技術を開発した科学者 J.ダウドナ（米国）と E.シャルパンテエ（フランス）は 2020 年度のノーベル化学賞を受賞した。他にも人工合成した蛋白質分解酵素で遺伝子を切断する TALEN や Zink Finger 等が開発されている。しかし、ゲノム編集で開発され商品化されているのは現在日本だけで、高 GABA トマト、マッスル真鯛、肥満トラフグ、成長の早いヒラメ、アレルギーのない鶏卵、等がある。現在、更に多くのゲノム編集生物が商品化に向け開発が進められている。

また、人工的に DNA や RNA を合成する技術も発達し、細菌の合成も可能になり「合成生物学」と呼ばれて新たな経済成長の手段になろうとしている。新型コロナ対策で登場した「メッセンジャー RNA ワクチン」も人工合成した RNA である。このように遺伝子 DNA や RNA の合成や切断技術の登場によって生命操作が容易になり、品種改良や医療技術、農業などに大きな影響をもたらしつつある。豚の肝臓や腎臓、心臓を使った人間への臓器移植も始まった。

最近、世界の専門家達が危惧する新たな生命操作技術が登場した。地球上には存在しない遺伝子や蛋白質を人工合成し、「Mirror Life（鏡像生命）」という生命体の人工合成技術である。地球上の生物は総て遺伝子 DNA と RNA、蛋白質から出来ている。DNA の鎖は化学的に右回り、蛋白質のアミノ酸配列は左回りの鎖で出来ている。これを人工的に DNA を左回り、蛋白質を右回りにして地球上に存在しない生命体を作る技術である。もしこの技術を使った生命体が出来れば現在の地球上の生命・生態系に未曾有の影響が起きるだろう。例えば、この細菌が感染しても抗生物質や医薬品は効かなくなり、ヒトの免疫反応も効かない。全ての薬剤や生物の免疫反応は、DNA や蛋白質の立体構造に結合することで機能を発揮している。鏡像生命は分子の立体構造が反射構造の為、既存の薬剤や免疫が機能しない。この技術が広がれば地球の生命の未来が危うくなる。しかし推進する科学者達はこの技術が新たな産業革命につながる、と期待している。生物兵器として使われる恐れもある。環境に放出されれば如何なる影響があるか想像も出来ない。こうした状況を危惧する世界の科学者 38 名が 2024 年 12 月に声明を発表し、この技術開発の中止を訴えた（Science 2024 年 12 月 12 日号）。今後、本格的に活動を始める予定である。

3) 生命操作の時代、私たちに何が出来る

自然を利用して経済を発展させ、豊かな社会を作る。こうした考えは資本主義も社会主義も変わらない。技術の発展と共に人類は利用できる自然の範囲を拡大してきた。第 4 次産業革命を目指す「生命操作」は地球の生態系と人類に何をもちたすかを真摯に考えなければならない。生命が誕生したのは 36 億年前。絶えざる進化を繰り返して現在の自然生態系がある。人類は進化の頂点にあり、他の生物を利用して生態系を変えてきた。WWF（世界自然保護基金）によると 1970 年～2016 年の間に地球上の脊椎動物の個体数は 68% 減少した。特に川や湖等の淡水域では 84% が消えた。これは人類による消費や環境汚染の結果である。今、生物の多様性を如何に維持していくかが問われている。ゲノム編集や合成生物学による生命操作は進化の歴史を否定し、地球の生態系破壊につながる恐れがある事を自覚すべきである。「生命」は人類だけのものではない。

リージョナルフイツシュ株式会社

- 2019年4月10日 京都大学、近畿大学の研究成果を元に会社設立。本社は京都大学。養殖地は京都市宮津市
- 2019年10月政府が「ゲノム編集」食品にコーサイン
- 2021年9月以降、「ゲノム編集」養殖魚の届け出
- 2021年12月10日 - 京都府宮津市のふるさと納税に出品開始

届け出	種類	市場流通開始
2021年9月	ワダイ	2021年10月
2021年10月	トラフグ	2021年11月
2022年12月	ワダイ	2023年1月
2022年12月	トラフグ	2023年1月
2023年12月	ヒラメ	2024年4月

届け出された「ゲノム編集」魚。すべてリージョナルフイツシュ社

宮津市ふるさと納税

ふるさとチョイス

22世紀鯛 養殖鯛めし 2~3人前 炊飯器で簡単 炊き込み(リージョナルフイツシュ 京大発 品種改良 鯛) トラフグ 150g×4パック

32,000円

焼きぶくぶく

180g 4パック

鯛めし、2~3人分 17,000円

「ゲノム編集」トラフグの焼き
フグセット4パック 32,000円

ふるさとチョイス

22世紀鯛 養殖鯛めし 2~3人前 炊飯器で簡単 炊き込み(リージョナルフイツシュ 京大発 魚品 品種改良) ツルメ 150g×4パック

17,000円

鯛めし

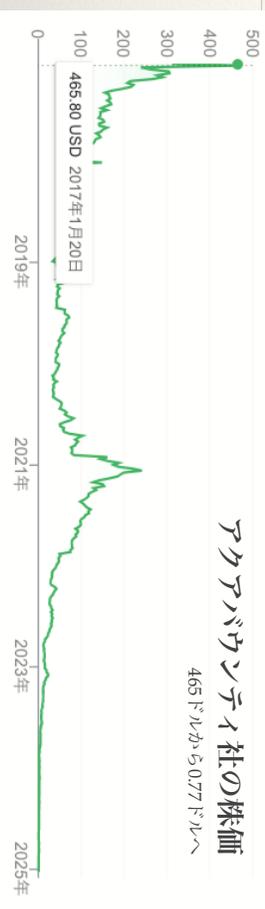
鯛の身を
鯛汁で炊く風味豊かな鯛めし

どこで売ってるの？

- オンラインショップ。概して高価。「2世紀ふぐ」×「下鴨茶寮」 養殖セツト 12,980円。「22世紀鯛」 養殖鯛めし 3,500円など
- 新宿高島屋の食フエラ (2023年7月開催) など (写真→)
- 都内のレストランで提供しているという新聞報道もあったが、店名も明記されず
- 宮津市のふるさと納税の返礼品の売り上げはほんのわずか



米国で遺伝子組み換えサーモン事業破綻



- 米国で短期間に巨大化する遺伝子組み換えサーモンを開発したアクアバウンテイ社は2024年12月、その事業を完全放棄
- 市場からは拒否され、株価暴落
- 公的資金に助けを求め、米連邦議会には拒絶され、破綻



「公平な説明会」開催を

宮津市民 市長に要望書提出



城崎雅文市長宛てに要望書を出す井口裕子さん(左)ら。市民有志一宮津市役所で

宮津市が市内の養殖場(陸上)でゲノム編集されたトラフグをふるさと納税の返礼品としてを巡り、市議会総務文教委員会が20日、安全性が確認されるまで返礼品からの削除を求める請願者の市民グループの共同代表と養殖を行う事業者のリージョナルフィッシュ(本社・京都市)の梅川忠典社長らを参考人招致した。出された意見を踏まえ、22日に請願の採択を判断する。

【塩田敏夫】

「企業として科学的根拠には絶対的な自信を持っている」と強調した。地元高校の新卒者2人を社員として採用したとし、雇用創出と産業活性化に貢献していると述べた。

今後、市と連携し地元で住民説明会や勉強会を開催する意向も表明。養殖現場の視察については少人数であれば受け入れてきたとして完全にシャットアウトしたわけではない」とした。排水については養殖場は関西電力宮津エネルギー研究所(宮津市小田宿野)の敷地内にあり「関電が法令を順守して排出している」と話した。

同社は、ゲノム編集されたトラフグは食欲を抑制する遺伝子部分を取り除くことで成長速度を向上させて効率の出荷できるとする。厚生労働省は目的に合わせて狙った遺伝子を改変したゲノム編集食品について、外来の遺伝子を含まないものは品種改良と同様に扱い、安全審査なしに届け出だけで流通できると認めている。

養殖場視察要請へ

ゲノム編集フグ 返礼品削除請願受け

宮津市が、市内の養殖場でゲノム編集されたトラフグをふるさと納税の返礼品としてを巡り、市議会総務文教委員会が6日、返礼品からの削除を求める市民からの請願に基づいて養殖「まず実をみるべき」などとして、中立の立場の専門家らに意見を聴くことになり、事業者のリージョナルフィッシュ(本社・京都市)に養殖現場の視察を申し入れることを決めた。そのうえで請願の可否を決め方針。

【塩田敏夫】

委員会は請願した市民グループ「宮津麦のね宙ふねっとワーク」の共同代表、井口裕子さん、矢野めぐみさんらも傍聴。松浦登壇も駆けつけ、委員長(公明)に要望する「請願者の意見を聞く」と述べた。

「取り下げの明確な理由がない中で(事業者)から断りが来た時点で、責任が取れるのか」と問うた。半信半疑の養殖場視察に賛同する。市は安全性が確認されるまでは返礼品から取り下げるべきだと主張した。



委員会の説明、紹介 責任がある」と訴えた。一人である久保 委員会は、岩野和由が不在中で(事業者)から断りが来た時点で、責任が取れるのか」と問うた。半信半疑の養殖場視察に賛同する。市は安全性が確認されるまでは返礼品から取り下げるべきだと主張した。

3月7日 毎日新聞

宮津市議会委

返礼品巡り参考人招致

ゲノム編集フグ あす請願採択判断

宮津市が市内の養殖場(陸上)でゲノム編集されたトラフグをふるさと納税の返礼品としてを巡り、市議会総務文教委員会は20日、安全性が確認されるまで返礼品からの削除を求める請願者の市民グループの共同代表と養殖を行う事業者のリージョナルフィッシュ(本社・京都市)の梅川忠典社長らを参考人招致した。出された意見を踏まえ、22日に請願の採択を判断する。

【塩田敏夫】

委員会では市民グループ「宮津麦のね宙ふねっとワーク」の共同代表、井口裕子さんと矢野めぐみさんが出席し、返礼品からの削除を求め1万661筆の署名を集めた経緯を説明。井口さんは「市と周知不足を指摘し、市議会に対し「海にゲノム編集の魚が出る責任がある。市議会」とが本当にないのか、京大発のベンチャー企業として科学的根拠には絶対的な自信を持っている」と強調した。地元高校の新卒者2人を社員として採用したとし、雇用創出と産業活性化に貢献していると述べた。

今後、市と連携し地元で住民説明会や勉強会を開催する意向も表明。養殖現場の視察については少人数であれば受け入れてきたとして完全にシャットアウトしたわけではない」とした。排水については養殖場は関西電力宮津エネルギー研究所(宮津市小田宿野)の敷地内にあり「関電が法令を順守して排出している」と話した。

同社は、ゲノム編集されたトラフグは食欲を抑制する遺伝子部分を取り除くことで成長速度を向上させて効率の出荷できるとする。厚生労働省は目的に合わせて狙った遺伝子を改変したゲノム編集食品について、外来の遺伝子を含まないものは品種改良と同様に扱い、安全審査なしに届け出だけで流通できると認めている。



市議会委員会に参考人として出席した井口裕子さん(右)と矢野めぐみさん(左)と木下政人取締役

「企業として科学的根拠には絶対的な自信を持っている」と強調した。地元高校の新卒者2人を社員として採用したとし、雇用創出と産業活性化に貢献していると述べた。

今後、市と連携し地元で住民説明会や勉強会を開催する意向も表明。養殖現場の視察については少人数であれば受け入れてきたとして完全にシャットアウトしたわけではない」とした。排水については養殖場は関西電力宮津エネルギー研究所(宮津市小田宿野)の敷地内にあり「関電が法令を順守して排出している」と話した。

同社は、ゲノム編集されたトラフグは食欲を抑制する遺伝子部分を取り除くことで成長速度を向上させて効率の出荷できるとする。厚生労働省は目的に合わせて狙った遺伝子を改変したゲノム編集食品について、外来の遺伝子を含まないものは品種改良と同様に扱い、安全審査なしに届け出だけで流通できると認めている。

麦のね宙ふねっとワーク 資料3

令和5年12月22日

麦のね宙ふねっとワーク
共同代表 井口裕子 様

リージョナルフィッシュ株式会社 代理人
弁護士法人 SACI 京都アカデミア法律事務所
弁護士 寶光井 英彦
弁護士 野村 龍男



冠省 当事務所、弁護士法人 SACI 京都アカデミア法律事務所は、リージョナルフィッシュ株式会社（以下、「当社」）を代理して、過日より、インターネット等を通じて麦のね宙ふねっとワーク様（以下、「貴団体」）が当社の商品であるゲノム編集技術応用食品に関して発信しておられる発言内容等について、共同代表を務めておられます井口裕子様へ本書面を送付します。

第1 概要

貴殿は、貴団体の共同代表者として、貴団体の行為につき一切の法的責任を負う立場と思量されます。その上で、貴団体は、後述のとおり、当社に対し、名誉毀損行為、信用毀損行為、及び偽計業務妨害行為を行っており、また、著作権侵害行為を行っています。以下、当社の見解をご説明いたします。

第2 貴団体署名活動による名誉毀損行為等について

貴団体は、2022年4月、「ゲノム編集とらふぐをふるさと納税返礼品から削除し、海上養殖は絶対にしないでください!」と題する署名活動（以下、「本件署名活動」）における署名用紙（以下、「本件署名用紙」）において、別添1「本件署名用紙における記載による侵害行為の概要」のとおり、当社に対する侵害行為に該当する記載をしております。本件署名活動には10,661筆の署名が集まったとのことですので、最低でも1万人以上であることはもちろん、おそらくは数万人規模の人々に本件署名用紙が閲覧・頒布されたものと考えられることから、貴団体は当社に対し、重大かつ深刻な名誉毀損、信用毀損、偽計業務妨害行為を行っております。

なお、誤解の無いように付言しますと、当社は当社水産物に反対する立場から署名活動を行われること自体に異議を申し述べるものではございません。しかしながら、本件署名用紙において、例えば「痛みを感じず命尽きるまで戦う人間兵器を作ることも可能な、神の領域に迫るテクノロジー」といった煽動的な記載を当社業務に関して記載し、これを1万人を優に超える不特定多数に頒布し、閲覧に供したことは、当該情報を受領した人々における当社に対する社会的評価等（名誉・信用）を大きく毀損する行為であり、適切な署名活動として許容される限度を大きく逸脱していることに加え、署名に応じた善意の情報受領者をも誤

麦のね宙ふねっとワーク 資料4

い態度を継続される場合には、誠に遺憾ながら、民事的責任として、不正競争防止法その他の法令に基づき、これまでに貴殿の誹謗中傷行為によって生じた当社損害の賠償を求め訴訟を貴殿個人に対して提起すること、及び刑事的責任として、主に刑法第233条の信用毀損及び業務妨害罪として告訴することを具体的に検討せざるを得ない状況になっております。

最後に、当社としては、貴殿が当社と競争関係にある水産事業者であるというお立場を改めて鑑み、当社の水産物を「病気」、「奇形」、「拷問」、「人間兵器」などという言辞により誹謗中傷される行為が、貴殿のおっしゃる民主主義の根幹をなすプロセスとしての消費者・市民による健全な言論活動の範囲内であるのかどうかにつきまして、真摯に再考して頂けましたら幸いに存じております。

草々

この郵便物は令和 6年 12月 13日
第 57728 号書留内容証明郵便物として
差し出されたことを証明します。

日本郵便株式会社



2025年3月8日(土) 記者会見を宮津にて開きます！ 14時～クロスワークセンターMIYAZUにて

OKシードプロジェクトの事務局長 印鑰智哉さん、有志の弁護士さんにご同席頂き、院内集会のご報告とリージョナルフィッシュ社代理人からの内容証明文について記者会見を開きます。どなたでもご参加ください！



会見会場(クロスワークセンターMIYAZU) 宮津市鶴賀2164-2
取材申込、ご参加は 090-4303-1730 井口NOCOまで

ZOOMのリンクはこちら

2025年2月6日

環境大臣 浅尾慶一郎 殿
農林水産大臣 江藤拓 殿
水産庁長官 森 健 殿
経済産業大臣 武藤容治 殿
内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全） 伊東良孝 殿

遺伝子組み換え食品いらない！キャンペーン

共同代表 天笠啓祐

共同代表 原英二

OK シードプロジェクト

共同代表 久保田裕子

共同代表 中村陽子

日本消費者連盟

共同代表 亀山亜土

共同代表 佐々木ミヨ子

共同代表 原英二

共同代表 マーティン・フリッド

質問状

ゲノム編集食品は2019年から届出の受付がはじまり、ゲノム編集魚に関してはリージョナルフィッシュ社の3品目5品種の届出が受理されており、上市されています。これらのゲノム編集魚は陸上養殖プラントで生産されていますが、その実態は公開されていません。わたしたち市民団体は、リージョナルフィッシュ社に対して質問状を送付し、意見交換を求めてきましたが、同社からは納得できる対応をいただけていません。同社は民間企業ではありますが、多額の公金支援を受けていることから説明責任があると思われれます。

この観点から下記の質問をいたします。2025年2月21日開催の院内集会にご出席いただき、ご説明と意見交換をお願いいたします。

質問1 リージョナルフィッシュ社から厚生労働省・消費者庁に提出された「届出」および、農林水産省に提出された「情報提供書」に記載されたとおりの生産は行われているのか、どのように確認していますか。情報提供書には、「成魚は、使用施設内で生き締め（不活化）した後に出荷する」とありますが、この工程は遵守されていますか。もし稚魚・幼魚・成魚が生きてまま搬出されているのであれば、運搬中に事故等でゲノム編集魚が環境中に放出された場合に備えて、どのような対策が取られていますか。

質問2 リージョナルフィッシュ社から農林水産省に提出された情報提供書には、「設備に異常がないか適切な頻度で点検し、問題があった場合に速やかに対応するための手順、網の清掃及び交換に関する手順、災害時の対応手順及び作業従事者に対する教育方法を記載した管理マニュアルを定める」とあります。このマニュアルはどのようなもので、所轄官庁としてはどのように評価していますか。

質問3 ゲノム編集魚がどこで、だれが、どのような方法で養殖しているのか、所轄官庁はその実態を把握していますか。また、その情報は地元自治体に共有していますか。なんらかの事故が発生した場合、どのような体制で対応することになっていますか。

質問4 動物に対するゲノム編集は、アニマルウェルフェアの観点から推奨されないとの意見があります。とりわけリージョナルフィッシュ社のゲノム編集マダイに関しては背骨の成長に問題があり、正常に泳ぐことができず、採餌にも悪影響があるとの報告もあり、「拷問養殖」であると批判する海外の研究者もいます。また、トラフグ・ヒラメは満腹感を感じることができず、餌を過剰摂取することになります。このような人為的に生育障がい・摂食障がいなどの機能不全を引き起こす育種は規制すべきであると考えますが、政府の方針をご説明ください。

質問5 リージョナルフィッシュ社などのスタートアップ企業などにさまざまな公的支援が行われていますが、どのような基準で実施していますか。また、その助成の効果や成果などは、どのように評価していますか。

質問6 リージョナルフィッシュ社には国からさまざまな助成が行われていますが、具体的にどのような機関からいくら支払われていますか。リージョナルフィッシュ社のゲノム編集魚は、稚魚の死亡率が高いとの報道もあり、採算が取れないと同社関係者も発言していますが、助成金の使途とその成果について把握していますか。また、質問4で指摘したようにアニマルウェルフェアの観点から海外、とくにEU圏では受け入れられない育種事業を公的資金で助成することは道義的にも問題があり、日本の食文化全体の信用喪失につながると思われますが政府の見解をご説明ください。

質問7 リージョナルフィッシュ社は市民団体からの意見交換を拒否し、質問状にも明確な回答をせず、情報公開に応じていません。公金による多額の支援を受けている企業には説明責任があると考えますが、政府の見解をご説明ください。

【賛同団体】(受付順/2025年2月19日現在)

バイオダイバーシティ・インフォメーション・ボックス
京都種子(タネ)と食の安全を守る会・準備会
people21
日本有機農業研究会
NPO 法人メダカのがっこう
食と農を守る会徳島
食政策センター・ビジョン21
漬物本舗 道長
NPO 法人ふじのくに学校給食を考える会
こどもたちの食の未来のネットワークはままつ
全国有志議員の会
NPO 法人かごしま食の家族
I女性会議
遺伝子操作食品を考える中部の会
郡上の食といのちを守る会
野菜がともだち
北海道食といのちの会
食べもの変えたいママプロジェクト(食べママ)
食べもの変えたいママプロジェクトみやぎ
オルター
反戦老人クラブ・京都
種子を守る会香川
こうち食と農をまもる連絡会
家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン
食の安全・監視市民委員会
食と農から生物多様性を考える市民ネットワーク
一般社団法人みんな天才化機構
NPO 法人民間稲作研究所
緑の党グリーンズジャパン
全日本農民組合連合会
日本の種子(たね)を守る会
愛媛有機農産生活協同組合
平成生まれの会となかまたち
食と環境の未来ネット
一宮生活協同組合
足利ワインバレープロジェクト
生活協同組合アイチョイス岐阜
生活協同組合連合会アイチョイス
京都3・8プロジェクト

学舎会
発酵道研究会ジャパン
あいち生活協同組合
BARのこされ島
エイコンズビレッジ
ふるもの あお
一般社団法人日本家庭料理協会
Free Sands Bio 合同会社
生活クラブ連合会
グリーンコープ生活協同組合くまもと
海陽町オーガニックス
生活協同組合コープ自然派奈良
関西よつ葉連絡会
生活協同組合コープ自然派おおさか
生活協同組合ナチュラルコープヨコハマ
生活協同組合連合会コープ自然派事業連合
生活協同組合コープ自然派しこく
生活協同組合コープ自然派京都
一般社団法人グリーンコープ共同体
ふえみん婦人民主クラブ
生活クラブ生活協同組合(千葉)
くまもとのタネと食を守る会一般社団法人
ガーディアンズフォーヘルスアンドフリーダム
生活クラブ生活協同組合大阪
生活協同組合コープ自然派兵庫
生活クラブ生活協同組合(滋賀)
生活クラブ生活協同組合・東京
(ほか2団体)

【カンパのお願い】 集会で講師として参加される方たちの謝礼・交通費などの費用のカンパをお願いします。

郵便振込口座:00100-5-727877

(ゆうちょ銀行:〇一九店/当座/0727877)

口座名:遺伝子組み換え食品いらない!キャンペーン